

何かやっぱり自分の子どもが一番かわいいんですけれども、あれをやりたい、これをやりたい、何か夢とかそういうものの大事さが結構あるし。子どもも大事だけど。

(子どもには子どもの) 人生があるわけですよ。もう始まっているわけじゃないですか。それとは別個の人生が親にはあるわけじゃないですか。だからそれを、親の人生を犠牲にして子どもを考えるのは違うと思うんですよ。

■ 育児へのかかわり

子育ての範囲は本当に、恥ずかしながら全然やっていなくて。お風呂入れるのだって、休みの日ぐらいですね。今は前よりもちょっとはよくなっていますけれども。

■ 家事へのかかわり

家事分担ですか。そうだな……。向こうは80以上かな。家事はほとんどですね。たまに皿洗ったり、本当にたまにつくったり。洗濯はしていないな。ちょっと雪が多いので、雪かきとかそういうのは2人でやったり。タイヤ交換とかそういう力仕事とかはやりませけれども、家事は大体妻がやっていますね。

■ 育児休業について

(男性でとったひとは) いないです。皆無です。
多分そういう人がいたら、「あーあ、何か奥さんのしりに敷かれているな」と思っちゃうんですよ。
だからそれが社会の中で徹底し出せば、自分もとりたいと思うんですよ。
でも、当たり前になるには難しいですよ。

やはり一緒にいられる時間があれば、その分きずなというかそういうのも深まると思うし。やはり母親と長く一緒にいるから、それだけじゃないかもしれないですけどもなつき方が違うじゃないですか。きずなみたいなものがあるじゃないですか。

■ 会社の雰囲気

何個か仕事を単独でやっているんですよ。だから、自分は長期休暇なんてほとんどとれないんですよ。2~3日休めば、もう限界ですね。1週間なんて絶対休めないですよ。

女性は、そうはいつでも許されると思いますよ。自分が産んで育てなければ、子どもは育たないんだから。でも男の場合は、そんなこと……じゃないですか、……。男のほうは、それは関与するのにこしたことはないけれども、ほかの親なり……全然同じ対応ができることだし、別にどうしても必要な、母乳をあげられるわけでもなく、自分が産んだわけでもないし。だから許される土壤がないというか。

■ 妻の社会復帰

(復帰)したいとは言っていますけれども、ただ、やはり3歳まで、保育園に入るまでは一緒にいたいと思っているみたいなので。

■ 周囲の子どもの数

女の子が欲しくて男の子が生まれちゃって、2人男の子という友達がいるんですよ。結局、もう3人目はつくらないんですよ。

周りで、2人というのが多いですね。結局、男女どちらも生まれればいいなと思うけれども、もう1人女の子が生まれればと思ってそこでまた男の子で、3人男の子っていう友達もいるから。やっぱり3人、そうしたらもう女の子が欲しいと思ってもう1人つくろうとしない。やっぱり3人までが……。3人という区切り、3人までという一種の壁があります。

経済的理由も多分。さっき言ったもう4人目で女の子チャレンジするのは無理だという人は、経済的理由でした。あとは体とか。お父さん、お母さん1人ずつ、そんなにいっぱい見られないじゃないですか。その辺も……。ですよ。経済的理由が一番大きいのかな、学校とかもあるし。

■ 子育てのポジティブな面

守らないと生きていけない子どもがいるわけですからね、責任感をつくかもしれない。

■ 教育観

だから保育園に行かせるにしても本当はもう1年ぐらい母親といってもいいなと思うんですけども、やはり周りの友達とかと、みんな今3年保育が当たり前になっていて友達社会というのがもうできるじゃないですか。できたところに入っていくよりも、みんなと一緒にいったほうがいいかなという単純な。

やはり我慢強く、あと素直になってほしいですね。あまり多くは望まないですけども。

何か我慢強い人とかまじめな人って、そういう昔は当たり前がいいと思われていた生まじめさとかがあってほしいですね。素直で、それでまじめに生きていてもらえれば。

おれは絶対そういうゲームとか与えたくないと思っているんです。そんなので仲間外れにされて、何かよくないことで嫌な思い、それに迎合しないから嫌な思いをしたりしても負けない子に育ててほしい。

親が楽しんでいる空間があって、その姿を見ることはやっぱり一番身近な存在として見ているんだから、こっちのほうが幸せな気がするんですよ。ただ子どもが楽しいだけの世界じゃなくて、親の楽しんでいる世界に自分もいるという安心感につながると思うんです。

ピアノを習わせたり。将来家をつくって、スタジオのある部屋とかつくって一緒に音楽やるのもいいし。

ともかくつくることは好きなので、つくる仕事についてほしいですね。組織の中で生きるのではなくて。

子どもがそれなりに目指しているものがあって真剣に取り組んでいるのであれば、大学に行くまで見たいなと思っています。中途半端に、ただみんな大学に行くから、ただ単に大学……大学に行くのだったら……。ちょっと突き放したいなと思います。

■ 妻の教育観

妻は、どちらかという子どもが楽しい場所に行きましょうという感じだから。

■ その他

(社会の) 雰囲気。このごろ感じるんですよ、嫌な感じというのが。いくら頭数がそろっても何か心がなくなってしまっている人の割合がどんどん多くなっていけば、少子化なんか金の問題よりも何かさらに嫌だなと思いますね。だからあまり、だから(知り合いがいうように)子どもをつくるべきじゃないみたいなのは、気持ちはわかりますね。

男の育児休暇，育児態勢か．それ以前のような気がするんですけどね．逆に，いま結婚しない人とかいるじゃないですか．

子どもがいることがとても幸せで，人生の達成すべき一番のものだというような教育が必要なのかな．だからあまり別に，本当に少子化という問題が社会を揺るがす重大な問題であれば，教育として考えていかないとはですね．本当に熱心に……．あまりそういう教育って，少ないじゃないですか．性教育も．

<既婚子あり 9, 29歳 長野県穂高町, 自営業>

■ 子どもを持つタイミング

(二人目は) 去年から頑張っているんですけど、なかなかできないもんで。上の子が3歳になったときに生まれればいいなというのが。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

2人で、「3人ぐらいは欲しいね」なんていう話は前からしていましたけれどね。

■ 子どもの数

僕が子どものときから、よその子どもというか友達とかきょうだいとかを見て、やっぱり多いほうがいいなというのものもある

子どものときは育てるのは大変かもしれないけれど、大人になって、自分が50, 60になって一緒に飲んだりできる年代になれば(大勢のほうが)楽しいんじゃないかなってというのは。

保険とか入学試験とかいろいろ、当然、月々で出していくじゃないですか。そういうのを見たときに、3人まではなんとかなるんじゃないかなというのが、経済的に見てというのですね。

やっぱりきょうだいがいたほうが粘り強いというか、一人っ子は割と長続きしないこともあるし。

■ 育児へのかかわり

普通の日に関しては、僕はそんなに接する時間はないかもしれないですけど、だけど結構、朝は僕と一緒に連れて行って、嫁と母ちゃんが店に来るまでの間は、いろいろ仕込みをしながらも見てやっている時間がある。

割と家族みんなで。

■ 妻の社会復帰

うちの嫁なんかは、割と(出産後もずっと)働いていたいほうなので。

逆に、子育てだけで行っちゃうと、割とストレスがたまっちゃうような感じだと思うんです。

■ 周囲の子どもの数

うちの近所では3人のところがかなりあるので。結構、近所づき合いとか。多

分珍しいと思いますけれど、うちの近所は、全然子どもがいない夫婦か3人の夫婦。7軒くらいは3人いるところなので、割と普通に3人いるみたいな。3歳から小学校5、6年ぐらいの子どもがいる人たちで、(子どものいない夫婦は)できない。欲しいと言うけど、奥さんが病院に通っていたり。7年ぐらい。

■教育観

一緒にキャッチボールとかしてあげられたらいいなというのもあったので。普通に生活して、普通に公の場所に来ても、ある程度常識は持てる子どもにはなってもらいたいので。

2人で怒っちゃいけないと思っているんですね。

人に迷惑をかけないような、当たり前前が当たり前前ができるようになってくれば。

野球をやってもらいたいんです。礼儀にしてもそうですし、いろんな意味で、生きていく中で多分プラスにはなると思うので、野球はしてもらいたい。一緒の仕事につくとか、つかないとか、本当に全然考えていないんです。(それより、野球選手になりたかった)自分の夢をかなえてもらいたい、息子にかなえてもらいたい。

ちゃんとした夢は持たせたいですね。

■育児環境

自営業なので週末は絶対忙しいので、そういうときは、うちのおやじのお姉さんが近くに住んでいたり、僕の仲人さんが近くにいたりして、土日は預けて見てもらったりしているんですね。

別々に住んでいますけれど、結局じいちゃん、ばあちゃんとほとんど一緒に過ごしているので、2人で何とかしようとかじゃなくて、割と家族で協力し合っ

て今までもやってきたので。

<既婚子あり 10, 27 歳, 長野県飯山市, 自営業>

■ 子どもを持つタイミング

1人目も別につくろうとかそういうのじゃなくて、自然の流れでできたらできたでいいやと言ったら、できた感じ

(二人目は、一人目が) 保育園とか幼稚園に入るぐらいじゃないですかね、気持ち的には。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

(話はするが) はっきり言いませんね、あの人は

とりあえず次2人目はちょっとあけたいなどは話ししましたね。(妻は) ちょっとしばらく産む痛いのは嫌だと

■ 子どもの数

自分がきょうだい4人いて、4人はうるさ過ぎるという。多くても3人です。1人ではちょっと子どもも寂しいから。おれのほうも1人はちょっと寂しいかなと、まあ2人か3人かと思います。

■ 育児へのかかわり

おっぱいくれたりとか、そういうのはできないけど、それ以外は何でもします。おむつかえたり、寝せたり、あやしたり、遊んだり、全部しますよ。

■ 育児休業について

合間、合間に何かあったときにとれるんだったら、幾らでもとりたいですよ。やっぱり仕事をしないと給料とかじゃなく、行かないといけないと思うし、でも育児もやっぱり大切だから、もし本当にかみさんが困ったり何かあったときには、やっぱり休みとりたいですね。

■ 妻の社会復帰

保母に限らず、ある程度子どもの様子を見て働くつもりでは。未満児でとってもらえる(預かってもらえる)その年齢か、2歳から・・・

■ 周囲の子どもの数

年の近いのがいっぱいいますね、1年前後で。

1人だけでいいやという人はあまり聞かないですね。

■教育観

テレビで子守をするぐらいテレビを見せておいて、そういうのは嫌だとか。例えばピアノだったりとか、そういうお稽古（けいこ）事とか、そういうのは考えてないです。

■育児環境

おれの両親のうちに住んでいるから、ばあちゃんもいるし。

そんなに神経質にならなくてもいいよというおふくろの言い方があったり。でもかみさんは結構神経質なほうなんで、その辺でちょっと意見が。けんかなんてしないですけど、ちょっと意見が合わなかったりします。

■理想の子どもがもてない理由

（経済的なことで子どもの数は）変わらないですね。
それは本当に親の意識の問題じゃないんですかね。

■その他

自営なんで、仕事がないと本当に収入がなくなっちゃうので。それもあるし、子どもね、やっぱり何かやりたいことをやらせてあげたいんですけど。やっぱり、そういうのにお金がかかるので、結構、この辺だとスキー。もし子どもがやりたいと言ったら結構お金かかるんですよ。

<既婚子あり 11, 30 歳, 長野県坂城町, 自営業>

■子どもを持つことについての夫婦での話し合い

(妻は何人子どもがほしいとか) そういうことは言わない, 一切.

(結婚時は) かえって逆に「できるかな」というくらいの感覚だったから, 「私はもうだめかな」と言っていたから.

自分も働いているし, やっぱ (1人で), 限界かなと思ってるかもしれない.

■ 子どもの数

理想はやっぱり 2 人ぐらい欲しいと思って.

自分もきょうだいがあったからそうだけど. 家族が少ないから, やっぱうちも多いほうがいいかなと.

1 人よりも 2 人, 2 人よりも 3 人なんだけど.

やっぱり大きくなってね, きずなというものがあるんだよね, 2 人となると. きょうだいがいると何となく安心できるというのかな,

■ 子育て観

責任的な部分から自分がやらなきゃと思う・・・か らかな. それに関してはストレスになったりということはない.

子どものことを最初に考えるようになったかな. まず最初に. ものを買うでも何でも. やっぱ子どものもので, まあ自分のは後でもいいやと.

子どもの育てていくまでの一瞬っていうのかな, そういうのってやっぱ見てかなきゃいけないと思う, 男も.

たった 1 年でもいい, 1 歳になるまでの, そういうのは男にとっても大事だと思う.

それって自分の自信にもなるんじゃないかな.

■ 育児へのかかわり

朝 8 時から 3 時まで自分が見てるんですね, おやじと. そうするとおれのおふくろが来て, そこから今度はうちの嫁さんが帰ってくるまで 3 時間ぐらい見て.

(お店で) おむつをかえたりとか. 食事, 離乳食をくれたりね, やってるんですよ.

6 時間から 7 時間ぐらいだね.

育児で疲れたっていうの, ないね.

■ 家事へのかかわり

自分が自営業だから、昼間暇なときにやったり。そういう洗濯もね、やったり。7：3……、8：2ぐらいで自分がやってる感じかな。家事でも何でも、料理でも何でもね、そういうのはあんまり嫌いじゃないから。うん。まあ普通に。体が動く。

■ 妻の社会復帰

2カ月で復帰しています。産前は20日くらい。

■ 周囲の子どもの数

周りね、やっぱ2人。3人という人もいるけど、3人は少ないな。3人いれば多たって感じがするよね、やっぱ。経済的な部分が一番多いんじゃないの。

■ 子育てのポジティブな面

毎日違う、動きが違う。やっぱ、食べるもんにしてでも、「今日はこれくってみようかな、あれくってみようかな」と、だんだん……おままごとじゃないけど、小さいときのそういうような感じでやってるから。楽しいっていうか、おもしろい。

うちの中が明るくなるのがいいのかな。

1人ふえるっていうのは、何にもかえられない、ほんとに。

自信がついてくるというのかな、自分に。

何かこうね、大きくなったような気がする、自分がね。一回り、少し。

得してると思うよ。何でも発見するのは自分が最初だし。

■ 教育観

そのとき自分の好きなようにしたら、(好きな)ようにすれば。

(学校も) そういうのもそのとき行きたければ、そこへ行ったらという感じ。

(保育園) うち3歳、普通に。

子どもが初めて表へ出る、そこまでのルール、ある程度のしつけというのかな、そういうものを家庭の中で学ばせるということじゃないかなと。

■ 妻の教育観

自分がこうしようっていうような、投げかけてみる。それで向こう（妻）が「いいんじゃない」って。

10のうちでいえばもう9は大体こっちの考え方で。

■ 育児環境

もう保育園が近いから、歩いて2～3分のところにあるから。

自分たちでやりなさいって。私たちはそこをサポートするという。

■ 男性が育児参加する条件

もう少しね、男性の本当の育児に対する、休暇に対する保障、それが一番じゃないかと。あと、休んでいる間もお給料が入るとというのが、そういうものがもうちょっと確立して、もうちょっとインパクトのあるようにやらないと、絶対無理だと思うね。このまま、まだまだ下がるでしょう。

考え方を変えていかなきゃだめなんだよね、もう即、育児イコール大変だと男の頭の中にはあるから。

■ 父親の役割

やっぱりお父さんが近くにいるのって、いいのかなと自分では思う。小さいときに。

よく母の愛情というのは聞くけど、父の愛情ってなかなか見えてこない部分があるじゃない。そういうものをやっぱりかけてあげられる。結局それって母親のやっていることと同じなんだと思うんだけど、両方をかけてあげられるってことじゃない、やっぱりそういうのって。

（何か女性と違うとか、ハンデに感じることは）ない。

自分はだからそのときは、母親も父親も一緒のような感じでやっているから

■ 理想の子どもがもてない理由

やはり奥さんの体もやっぱり関係してきてるから。

■ 行政へ望むこと

もう少しね、社会福祉にお金をかける部分って今多いんだけど、そういう部分をもうちょっと子どものほうに回してくれると、もう少し子どもをつくる、ふ

やそう，ふやそうというのがあれば，いいんじゃないかと思うんだよね。

■ その他

やっぱ，自分に預けてるといふ安心感もあるし．気にせず仕事をしているんじゃないんですか．

今，自分，やっぱ理想的かなと思うね．例えば自分がもし会社員で，奥さんもうちにいて，帰ってきたら子どもはもう寝ているだけとか，そういうふうなだったらどうかなって，やっぱ考える．

やっぱね，自営業のほうがいい．うちにいて，こういう仕事をしていて子どもを見てるほうが断然いいと思う．

<既婚子あり 12, 27 歳, 長野県長野市, 飲食業>

■ 子どもを持つタイミング

入籍は3月で生まれたのが9月なんで。

年子とか無理だから、しかもうちのかみさんはもう31だし。

うち帝王切開だったんですけど、3年ぐらいあけなければいけないんですよね、帝王切開は、たしか。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

2人でもまあまあいいかなとは思ったんですけど、うちの奥さんは絶対3人と行ってましたね。かみさんは3人きょうだいだったから。

今はおれよりむしろかみさんは、欲しい欲しいと言ってますね、

むしろ将来的な。今は生活が一応できているから日々暮らせているから、そのことについてはそんなにはないんですけど、ここにじゃあもう1~2人生まれたら、こうなんじゃないとか、ああなんじゃないとか、どうするよとか、そんな話ですね。

■ 子どもの数

3人ですね。おれは、きょうだいは2人なんですけど、親戚と一緒に、3人いて、いところが3人、だから子ども5人で一緒に生活していたみたいなき感じだったんですよ。それで、多いほうがいい。おれは弟と2人きりだけになったときとかは、やっぱりちょっと寂しいかな。

ちょうどいいかな。相当かつかつだと思うんですけど、3人子どもができれば。

多くて損をすることは多分お金だけだと思うんですよ。だから頑張って稼げばいいか、感じ的にはそんな感じですね。

(経済的なことを)何も考えなくてよかったら、5, 6, 7人ぐらい欲しいですね。

■ 子育て観

ほっといてもでかくなるから大丈夫みたいな。

(何歳までは奥さんに)見てほしいと思う希望ということですよ。うーん、ないですよ、おれ。

■ 育児へのかかわり

子育てですか。うーん、1割とかじゃないですかね。

一緒にお風呂入ったりとか。

(平日は)ゼロですね。ほんと、遊ぶぐらいですよ。あとは遊んでるときにおむつ交換するとか

■ 家事へのかかわり

休みの日の晩飯はじゃあつくるよとか、昼飯はつくるよとか、そういうレベルです。

■ 育児休業について

その半日という時間、短い時間を残ったほうが鬼のように頑張ればできる、こなせるとは思うんですけど、それが例えば1週間、10日、1カ月、そういう長いスパンになると、もう会社としてそういう体制をできるだけ、例えば姉妹店があるから姉妹店の人を回せるとか、そういう体制はつくれてないので、それは無理かなという感じですね。

おれは要らないかな。

その後の社会復帰というか、単純に包丁とかって1週間持たないと感覚が狂うんですよ。

極端な言い方をすれば、そこまでしてでもとりたいたいと思うんだったらさ、店やめちゃうよ。

■ 妻の社会復帰

(3歳から子どもを預けて働こうと)思ってると思います。働くんじゃないかな。

■ 周囲の子どもの数

聞くのは2人(希望)が多いですね。でも、うちまだ新米夫婦がおれの周りも多いんで。

■ 教育観

人に迷惑をかけないで生きていける大人になればという感じですね。何かいい大学へ行かせたいとか、そういうのはあまり思わないから

おれはボードが好きだからボードさせたいかな。

■ 妻の教育観

かみさんも別にそんなにいい大学に行ってほしいとか、大学に行かなきゃいい人生を歩めないとか、そんなことを——逆にそんなことを言う人だったら、おれ結婚してないですもの。

かみさんは乗馬が好きだから馬に乗らせたいとか、そういうレベル。

■ 育児環境

実家が近いから、同じ市内にかみさんの実家もあるから、甘えられたりとか相談できたからということもあったから、やっていけたのかもしれないですけど。

■ 理想の子どもがもてない理由

1人目をもし産んだとして、その人たちが2人目を産むのを全くためらわない状況は養育費完全……。あれじゃないですか、サポートみたいな、補助。完全保障してくれれば、でも2人目だろうが3人目だろうが4人目だろうが。

補助額が月5万とかそれなら産むんじゃない、きっと。

<既婚子あり 13, 34歳, 長野県長野市, 自営業>

■ 子どもを持つタイミング

まあ年齢的に、30 くらいが一つの生まれるタイミングだと思うんですよね。それが生まれて、2人目が35 くらいの年じゃないかなと思うので、僕が結婚したのが31 なんです。まあ、そうですね。1人目の子はちょうどいいタイミングで生まれたという感じですけども。

お店のほうもまだ1年もたっていないので、1年たってみてどんな……。軌道に乗るのか乗らないのか、そこら辺を見きわめてからかなというふうにも思っています。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

あんまり聞いたことはないけど、でも3人くらいだと思いますよ。結婚したときは話はあったんですけど、多分そのときは、それくらい的人数ですね。

やっぱり2人目という話になると、何かまだ「そんな余裕ないよ」というようなこと言っていましたけどね。

本当は今くらいのタイミングできょうだいがいればいいなと僕は思うんですけども。この間ちょっとそんな話をたまたましていて、「もうちょっと」と言うので、そのもうちょっとがどのくらいなのかわからないんで。

■ 子どもの数

僕は3人欲しいな。

僕らの兄弟が3人だったのと、やはり子どもが多く欲しいなと思っていまして、でもまあ3人くらいが一番ちょうどいいくらいかなと思うんですよね。金銭的にも。

僕的には男の子が欲しいんで、男の子が生まれるまでは生み続けさせますけど。もう男が生まれるまでと思っているんだけど、彼女がもつかどうか。

3人生まれて3人大学に行くようなことになっても、それを払っていけるように頑張ろうかなというふうにしか思っていないんですけど。

■ 子育て観

僕らも自営で働いてる以上は、目が行き届かないときに兄弟がいれば、子ども同士で遊んでたりということも可能じゃないかなと思います。

子どもは、みんな外で遊んだりとかというのが、僕が思うにはそういうふうに育てたいなと思っているんで

■ 育児へのかかわり

いる時間は一緒にいてあげようというふうに思っていて、結構お風呂に入れることは多いですね。

■ 家事へのかかわり

家事分担ですか。僕も全然大したことはしていませんけども、料理を残さず食べるくらいですかね

あとは本当にもう部屋が、洗濯物が干しっぱなしになっていたりすれば、洗濯物を畳んだりとか

子どもが生まれる前は違いました。洗濯と掃除とやってましたね。嫁さんが子どもが生まれるまでは働いていたので

今はもうほとんど夜は実家のほうに行って、みんなでご飯を食べて、それでお風呂に入って、それでアパートに帰っているんです。

■ 妻の社会復帰

嫁さんは、基本的には平日は大体入っているんですけども。9時から5時までですね。週3回くらい。

■ 周囲の子どもの数

1人でいいという人は（います）。多分、お金的な問題じゃないですかね。水準が下がっちゃうということだと思うんですよね。

■ 子育てのポジティブな面

子どものためにしっかりと安定した収入を得られるように頑張りたいなというふうに、生きがいみたいに思っていますけどね。

子どもがいるから頑張れるというのもありますけど。

家の中で、笑顔とかそういう、明るくなったというのはありますよね。

■ 教育観

過保護的に育てるといのは嫌なんです。もう歩けるんだからもう歩かせて、転んでも自分で起き上がってこいというくらいの、そういうふうに育てている

んで。

伸ばせるようなところは伸ばしていったらいいなと。

いろんなきっかけづくりのために、親がいろいろチャンスを与えてあげようというふうに思っています。例えばピアノを教えるとか、クラシックバレエを教えるとか、そういうきっかけってなかなか、やらせないといけないじゃないですか。

なるべく高校を卒業して大学に行けるような能力と、それを与えられるチャンスを与えたいなというふうには思いますけども。

■ 育児環境

保育園に入ったのは、1歳3カ月くらいから。

どうしても仕事に入らなきゃいけないと、日曜日に2人で（お店に）入らなきゃいけないというときは、うちは母親が面倒を見てください。

■ 行政へ望むこと

少子化が進んでいるから、児童手当。手当をつけてもらえるような環境があれば、もっと子どもを育てようかと思う人がきっとふえてくるんじゃないかなと思うけど。

■ その他

うちは長男なんで、親的には長男、男の子が欲しいっていうのは思うんじゃないかな。

<既婚子あり 14, 36 歳, 長野県長野市, 会社員>

■子どもを持つことについての夫婦での話し合い

うちは同じ考えで、女の子だったら3人目が欲しい。

最初から女の子をつくろうという目標で、男の子が2人出てきちゃったんですけど。

(妻は)最初は3人とか言っていたような気がするんだけど、今は「もういい」とか言っている。その時期は仕事を休まなければいけなかったり。となると、いろいろ。

結婚するとき共働きでいいと言って、「共働きだね」というので計画を立てて家を建てたというのがあるので。共働きでないとローン……。就職して数年で結婚したので、まだ給料が少なかったのも、共働きじゃないと生活していけなかった。

■ 子どもの数

3人。(もう一人は)女の子だったらいいかな。

仮に3人だとしても、1人おとなしい子(女の子)がいれば3人いてもどうにか面倒見られるというか、世話が……。

(一番最初が女のこだったら)2人。次は男の子かな。

兄弟はいたほうがいいですね。子ども1人のときって、親としか遊ばない。弟ができたことで、兄弟でやっぱり遊んでいるので、

■ 育児へのかかわり

(妻:自分の比率は)8:2ですね。土日はあまりいないので、遊びに連れて行くとか、あまりやらないですね。8:2か9:1か。

■ 家事へのかかわり

たまに、月に数回は食器を洗ったり、洗濯物を月に1, 2回干したり、そんな程度ですね。

■ 育児休業について

うちの会社は一応1年間とれるんですけど。だれもとったことないんです。とりたいとは思いますが、とったら居場所がないなと思って。

収入がなくなるし。

有給がいっぱいあるので、子どもが生まれると、たしか3日ぐらいもらえて、有給も普通の人には40日あるので、それを好きに使ってみたい。そのぐらいで十分。

■ 周囲の子どもの数

1人でいいという人は、あまりいないですね。

3人、4人という人もいますけれどね。いるけれど、例えば、女3人生まれて、どうしても男が欲しいとか。

■ 子育てのポジティブな面

子どもに、ちゃんと働いているんだよというところを見せたいというのもあるし、親の背中を見て育つと言うじゃないですか。だから……ふだんの生活でも、身が引き締まるということも変だけれど。

■ 教育観

学生と名のつくまで（面倒をみる）。

■ 育児環境

（同居の両親が）いないと生活ができないですね。

年少で預けようというのも決めていたし、下の子は2年ぐらい早く入れちゃったんですけれど、

（子どもが）小さいころは、（実家の両親に）ああしろこうしろと結構いろいろ言われましたね。

■ 理想の子どもがもてない理由

やっぱり（妻の）仕事ですね。やっぱり産休とか育休をとらないといけないんだけれども、前とったときも結構とりづらかったんですね。

■ その他

（補助金の）額にもよりますけれどね。小さいと病気が多いので、医療費がただになる期間が長いと結構助かりますね。

高校はいいとして、やっぱり大学はお金がポンと上がるから。昔だと、そのぐらいの年になると給料もガーンと上がっていたけれど、今は上がる額が少ない